



1 部会名

特別支援教育部会

2 研究テーマ

子どもも教員も安心して学校生活を送るための支援情報の引継ぎと共有

3 研究の取組

(1) 研究内容

- すくすくシートを活用した支援情報の引継ぎと共有について研究・協議した。
- 担任や教科担任など、場面に応じた児童生徒の支援にはどのような情報が必要か。
- 保護者、本人の願いをどう把握するか。
- 小学校側は支援情報をどう中学校へ引き継ぐべきか。
- 引継ぎ、共有された支援情報を中学校側はどう生かすか。

(2) 研究計画

月 日	研修内容	月 日	研修内容
5月9日	研究テーマ・内容の協議、計画作成	11月21日	研究テーマ・内容の協議
6月30日	研究テーマ・内容の協議、計画作成	2月6日	1年次のまとめ
10月9日	研究テーマ・内容の協議	2月20日	1年次報告提出

4 研究の成果と課題

【成果】

- 小中学校間の引継ぎにおいては、すくすくシートの利用が有効であることを確認した。
- すくすくシートの活用について各校の現状を見直し、より良い活用の方法について意見を出し合うことができた。
- すくすくシートを保護者との連携に活用することができた。
- 小学校と中学校でのすくすくシートの活用の目的が異なることが分かった。  
(中学校は担任以外の先生が関わる機会が多いからこそ情報を共有したいが、小学校は担任一人が抱えてしまうことがないように情報を共有したい。)
- 児童生徒の行動等だけではなく、その背景に何があるのかを考えることが重要であることが明らかになった。

【課題】

- 児童生徒指導に関する情報共有において、もっとすくすくシートを活用できないか。
- 特別な配慮を必要とする児童生徒の情報を共有する手段の1つがすくすくシートであるため、日常的に見直す機会を設けるためにはどのようにしたらよいか。

5 さらに研究していきたいこと・次年度の構想

- 各校におけるすくすくシート活用の現状について
- すくすくシートを年間を通して活用する方法について  
(作成方法、作成や見直しの時期について)